

令和8年上半期における交通事故の発生状況

令和8年7月31日
警察庁 交通局

【概況】

交通事故死者数の推移

- ・死者数は1,162人で、前年同期比1人、0.1%増加
- ・65歳以上の死者数は633人で、前年同期比26人、3.9%減少

〔状態別の特徴〕

- ・全年齢、65歳以上ともに「歩行中」及び「自転車乗用中」は減少、「自動車乗車中」は増加
- ・全年齢では「自動車乗車中」が最多、65歳以上では「歩行中」が最多

令和8年上半期の交通事故発生状況

○ 歩行者

- ・歩行中の死者数は2年連続で減少しており、65歳以上の高齢者の割合は7割前後で推移
- ・事故類型別では「横断中」が多く、特に、横断中のうち65歳以上の「横断歩道以外横断中」が多い

○ 自動車～高齢運転者

- ・75歳以上高齢運転者による死亡事故は2年連続で増加
- ・75歳以上高齢運転者による車両単独死亡事故の構成率は、75歳未満の約1.8倍

○ 自動車～飲酒運転・携帯電話等使用

- ・飲酒運転による死亡・重傷事故は増減があるも減少傾向
- ・携帯電話等使用による死亡・重傷事故は令和3年以降増加

○ 自動車～外国人運転者

- ・外国人運転者による死亡・重傷事故は近年増加傾向
- ・国籍（地域）別は中国、韓国・朝鮮が約半数

○ 二輪車

- ・自動二輪車乗車中死者数が増加しており、自動二輪車乗車中死者数は7月から10月にかけて多い傾向
- ・自動二輪車の車両相互死亡事故では右折直進が多く、自動二輪車側が直進の事故が約9割

○ 自転車

- ・自転車関連死亡・重傷事故は減少傾向
- ・携帯電話等使用による交通事故は令和6年以降減少
- ・自転車対自動車事故は減少傾向、自転車対歩行者事故は令和4年以降増加していたが、本年は減少
- ・自転車対歩行者事故の約4割は歩道で発生

○ 特定小型原動機付自転車

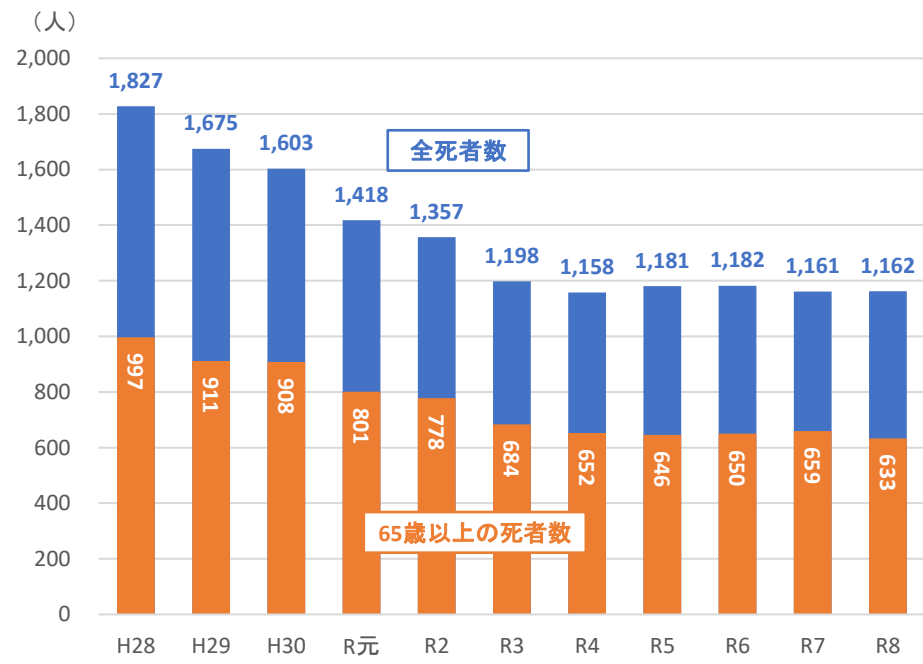
- ・発生時間帯は8～10時台が多く、0～2時台に発生した事故の約半数に飲酒あり
- ・相手当事者は自動車が約4割と最も多く、次いで単独が約2割

（注）・本資料は、令和8年7月16日までに入手したデータにより作成したものである。
・数値は、単位未満で四捨五入してあるため、合計等が内訳の数値と一致しない場合がある。
・令和8年の死亡事故件数及び死者数以外は暫定値である。

1 交通事故死者数の推移

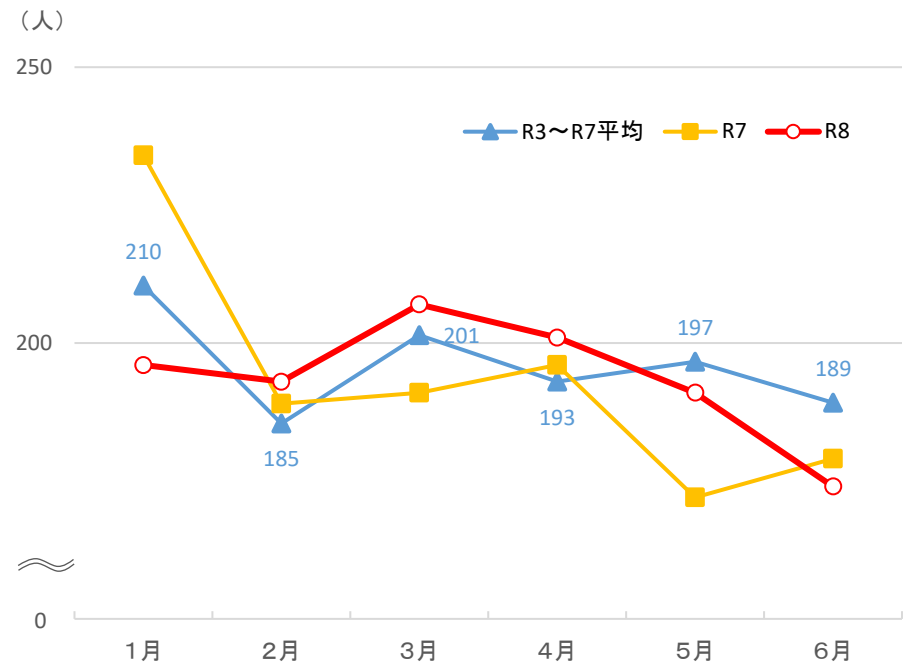
- 死者数は1,162人で、前年同期比1人、0.1%増加
- 65歳以上の死者数は633人で、前年同期比26人、3.9%減少

交通事故死者数の推移【各年6月末】



65歳以上の割合	54.6%	54.4%	56.6%	56.5%	57.3%	57.1%	56.3%	54.7%	55.0%	56.8%	54.5%
----------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

月別交通事故死者数の推移



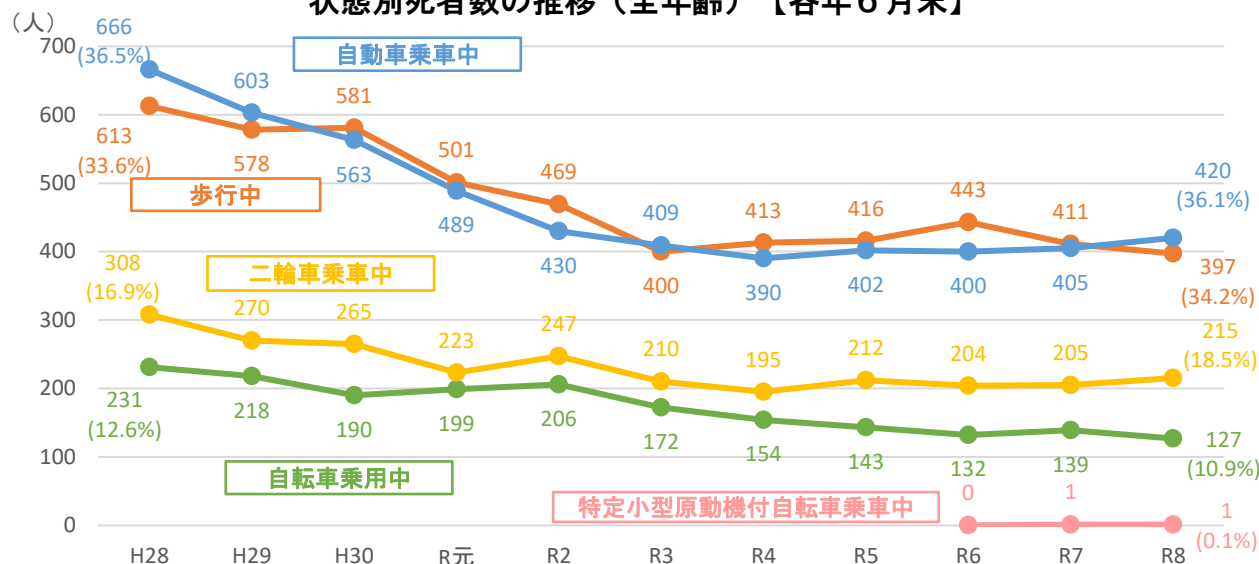
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
R3	198	207	210	198	183	202	1,198
R4	183	176	203	191	214	191	1,158
R5	217	170	226	184	208	176	1,181
R6	220	185	177	196	206	198	1,182
R7	234	189	191	196	172	179	1,161
R8	196	193	207	201	191	174	1,162
増減数	-38	4	16	5	19	-5	1
増減率	-16.2%	2.1%	8.4%	2.6%	11.0%	-2.8%	0.1%

(注)・増減数(率)は、前年と比較した値である。

2 状態別交通事故死者数の推移

- 全年齢、65歳以上ともに「歩行中」及び「自転車乗用中」は減少、「自動車乗車中」は増加
- 全年齢では「自動車乗車中」が最多、65歳以上では「歩行中」が最多

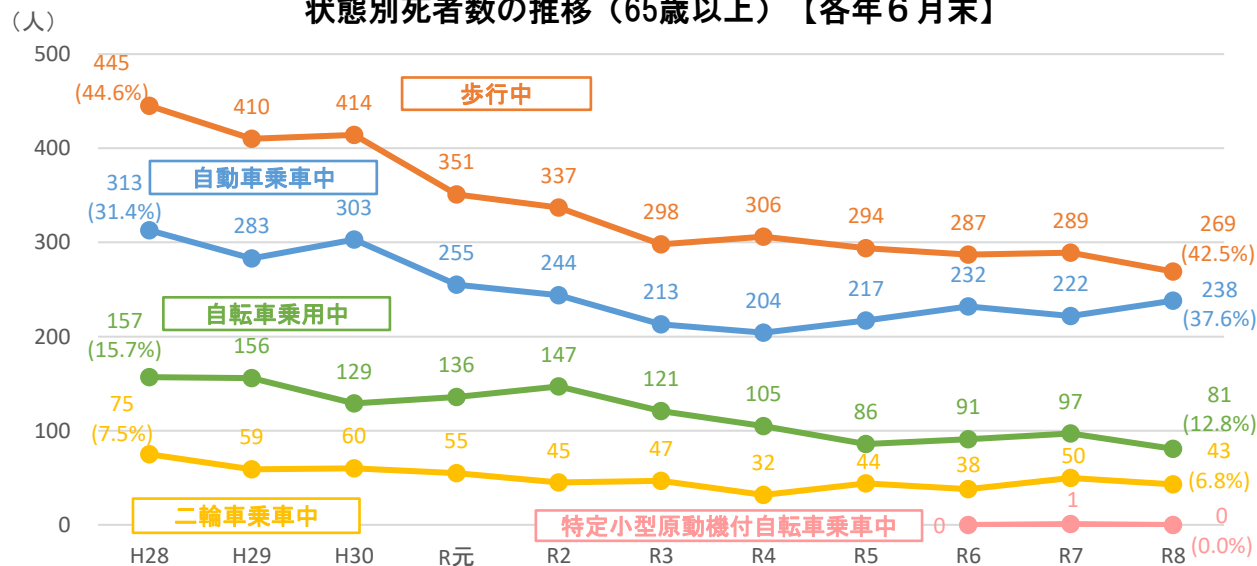
状態別死者数の推移（全年齢）【各年6月末】



(注) ・()内は、全死者数に占める構成率。以下同じ。

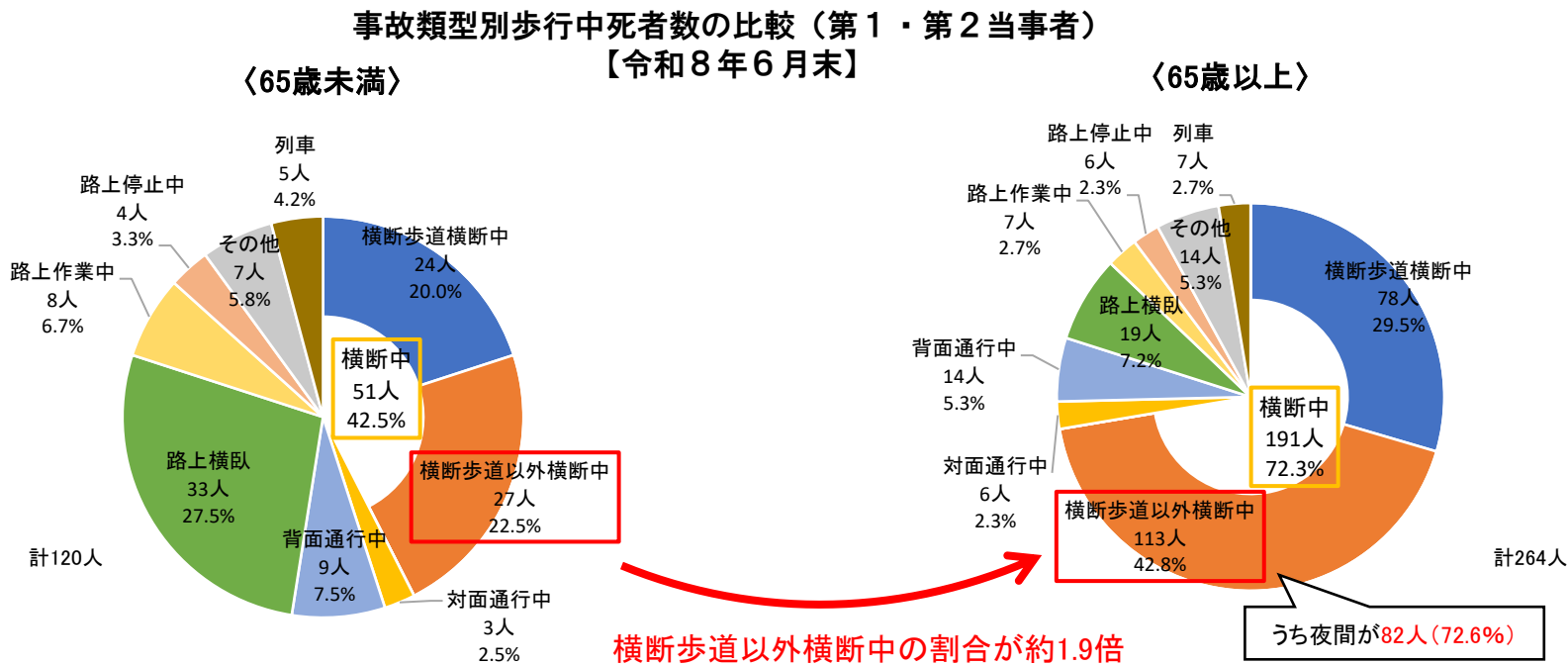
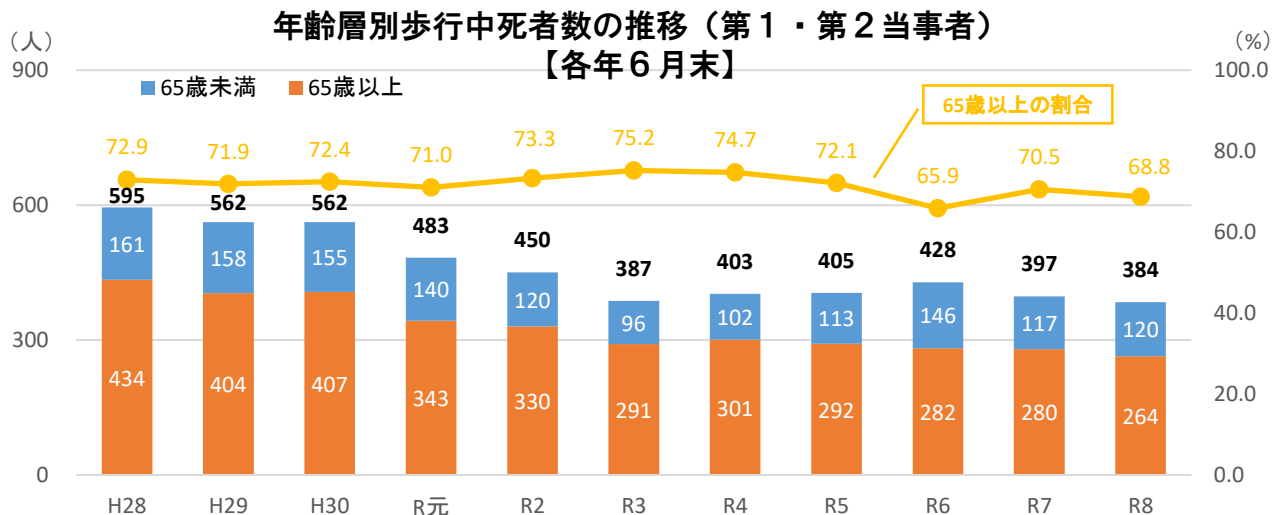
・「二輪車」は、自動二輪車及び一般原動機付自転車(令和5年は特定小型原動機付自転車を含む、以下同じ。)をいう。

状態別死者数の推移（65歳以上）【各年6月末】



3 歩行者

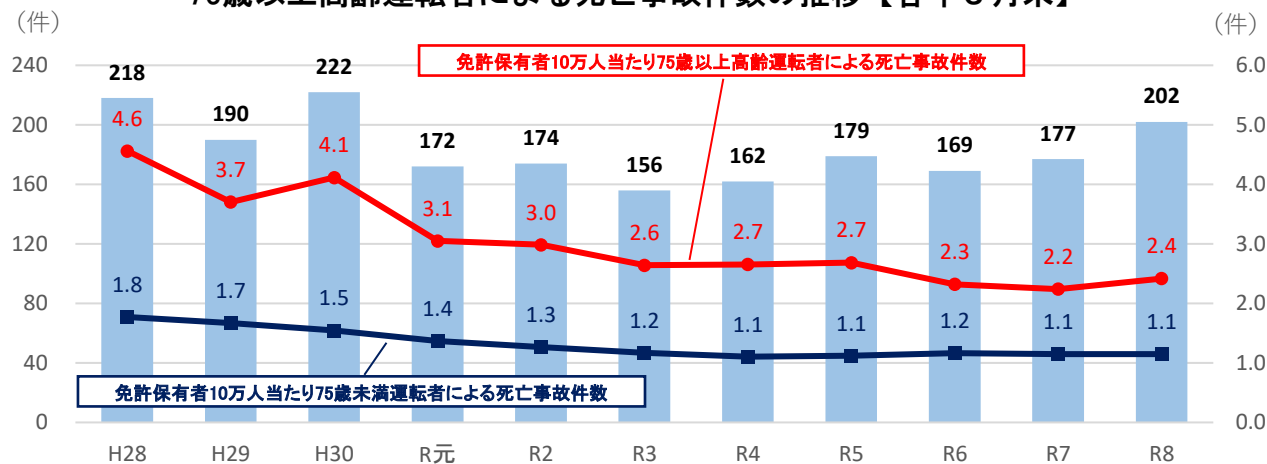
- 歩行中の死者数は2年連続で減少しており、65歳以上の割合は7割前後で推移
- 事故類型別では「横断中」が多く、特に、横断中のうち65歳以上の「横断歩道以外横断中」が多い



4 自動車～高齢運転者

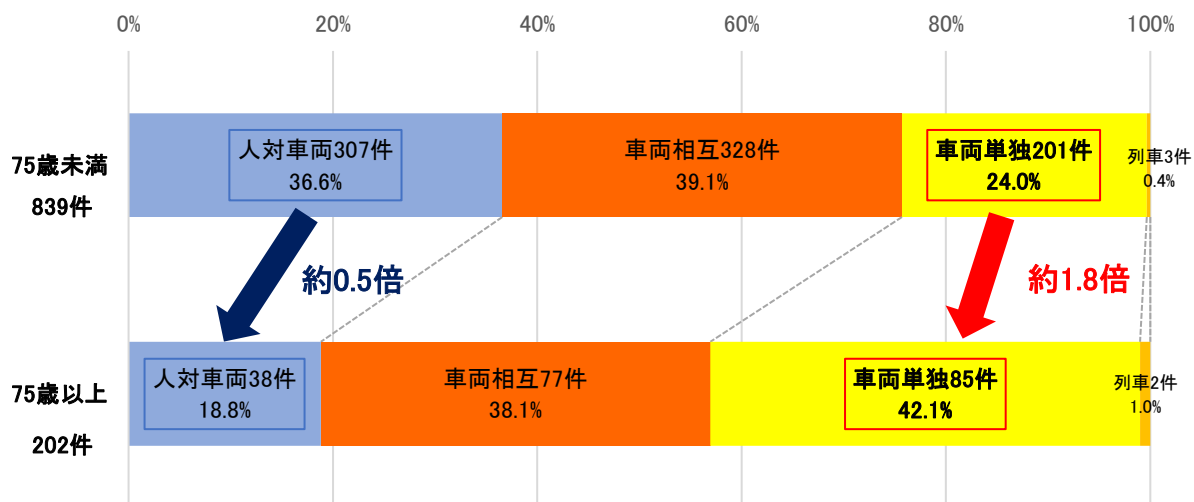
- 75歳以上高齢運転者による死亡事故は2年連続で増加
- 75歳以上高齢運転者による車両単独死亡事故の構成率は、75歳未満の約1.8倍

75歳以上高齢運転者による死亡事故件数の推移【各年6月末】



(注)・第1当事者が一般原付以上(自動車、自動二輪車及び一般原動機付自転車。以下同じ。)の件数である。
 ・運転者の年齢が16歳以上の事故について集計した。
 ・算出に用いた免許保有者数は、各前年12月末の値である。

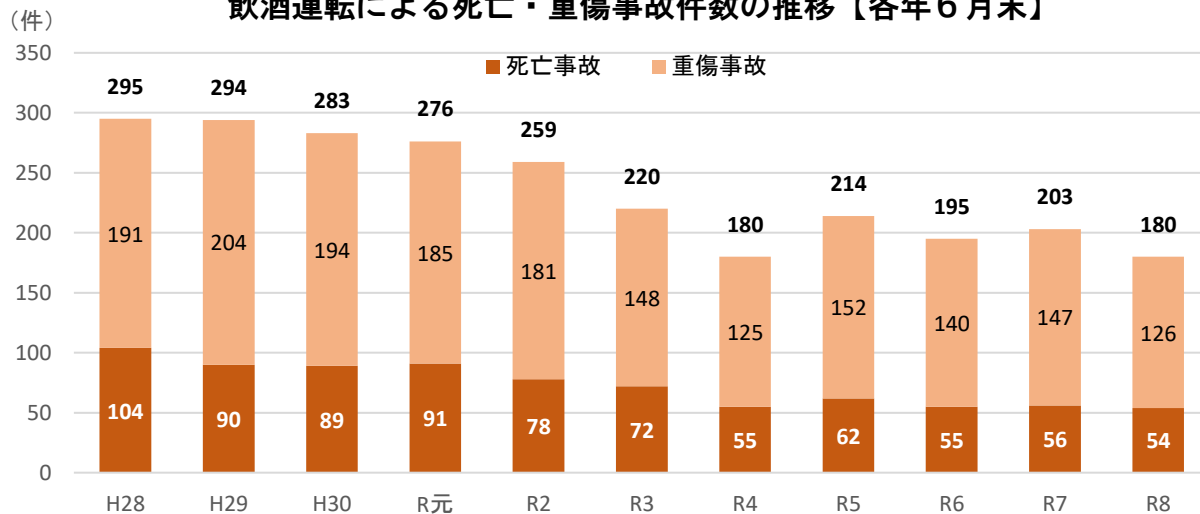
事故類型別死亡事故件数構成率の比較【令和8年6月末】



5 自動車～飲酒運転・携帯電話等使用

- 飲酒運転による死亡・重傷事故は増減があるも減少傾向
- 携帯電話等使用による死亡・重傷事故は令和3年以降増加

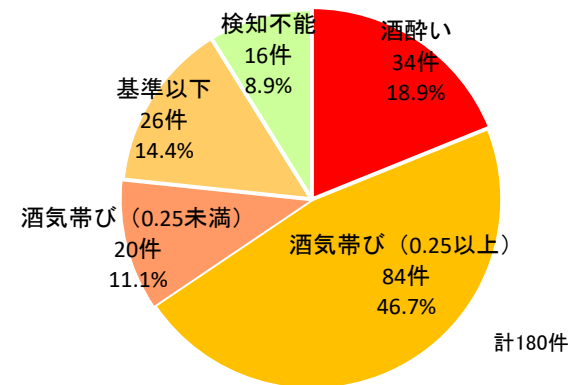
飲酒運転による死亡・重傷事故件数の推移【各年6月末】



(注)・第1当事者が一般原付以上の件数である。

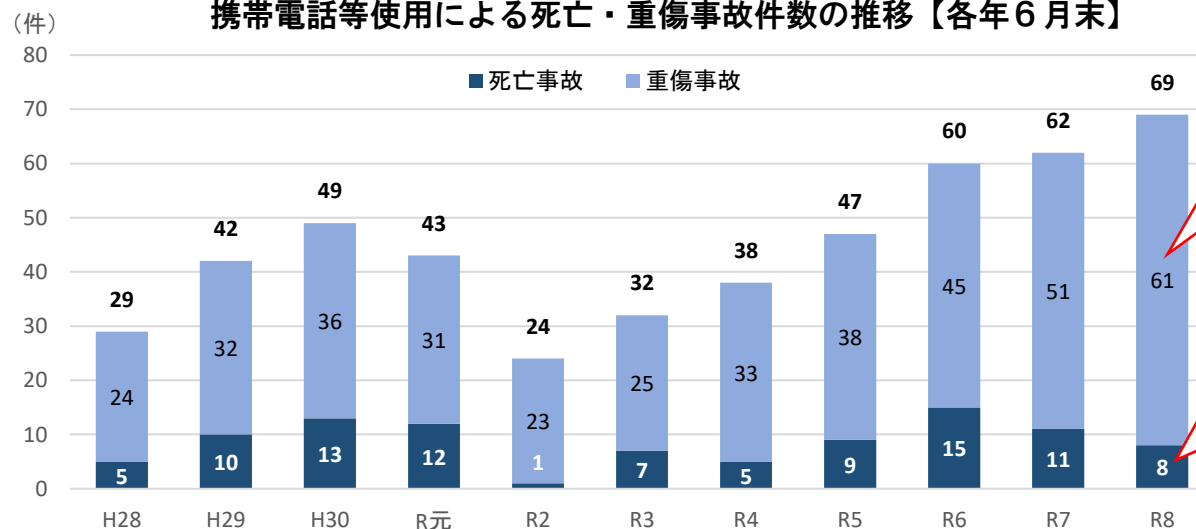
・「飲酒運転」とは、第1当事者の飲酒状況が酒酔い、酒気帯び、基準以下、検知不能のいずれかに該当するものをいう。

飲酒状況別飲酒運転による死亡・重傷事故件数【令和8年6月末】



(注)・括弧内の数値は、呼気1リットル当たりのアルコール量(mg)。

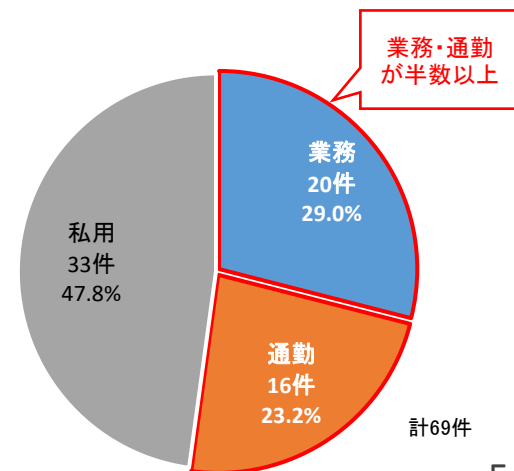
携帯電話等使用による死亡・重傷事故件数の推移【各年6月末】



(注)・第1当事者が一般原付以上の件数である。

・携帯電話、スマートフォン等の使用が要因となって発生した事故を集計した。

通行目的別携帯電話等使用による死亡・重傷事故件数【令和8年6月末】



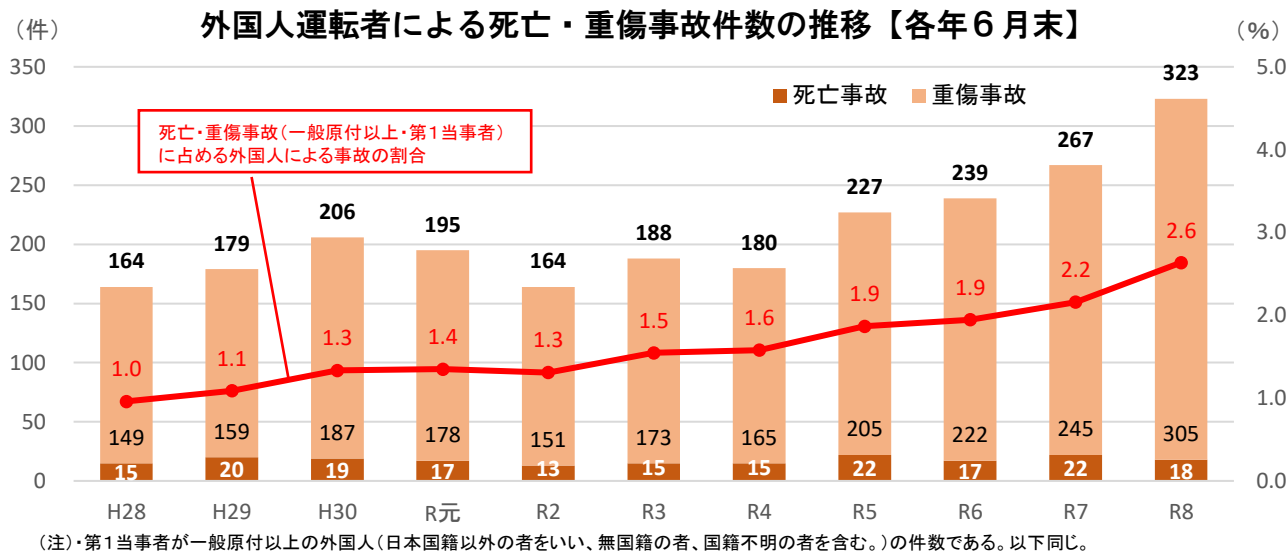
業務・通勤
が半数以上

画像目的
56件
通話目的
5件

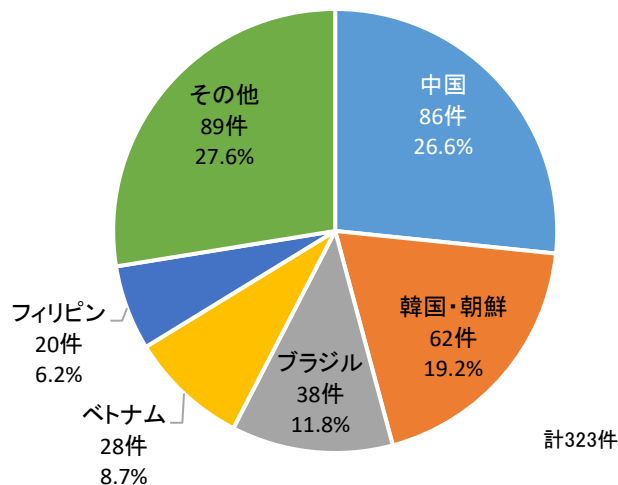
画像目的
8件

6 自動車～外国人運転者

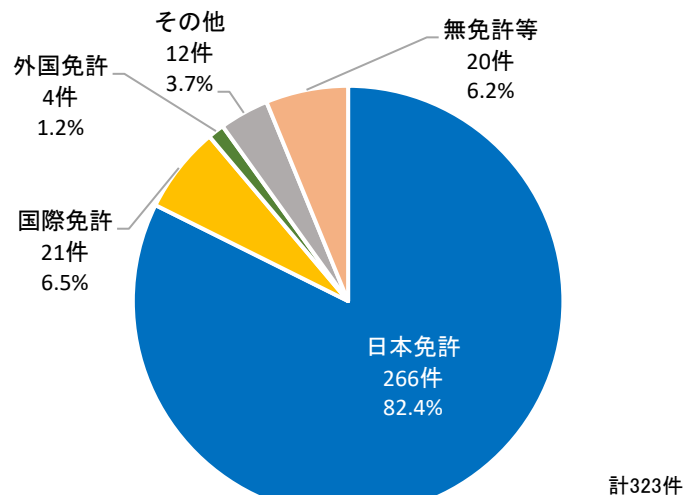
- 外国人運転者による死亡・重傷事故は近年増加傾向
- 国籍(地域)別は中国、韓国・朝鮮が約半数



国籍(地域)別外国人運転者による死亡・重傷事故件数
【令和8年6月末】



運転資格別外国人運転者による死亡・重傷事故件数
【令和8年6月末】



- (注)・国際免許とは、道路交通に関する条約(ジュネーブ条約)第24条第1項の運転免許証で、条約附属書9又は条約附属書10に定める様式に合致したものをいう。
・外国免許とは、道路交通法第107条の2に規定される外国運転免許証をいう。

【各年6月末】

Legend: 自動二輪車 (Automatic Two-Wheeled Vehicles), 一般原付 (General Original Vehicles)

Year	自動二輪車 (Automatic Two-Wheeled Vehicles)	一般原付 (General Original Vehicles)	Total
H28	198	106	304
H29	184	79	263
H30	170	92	262
R元	152	69	221
R2	173	69	242
R3	135	70	205
R4	149	41	190
R5	158	52	210
R6	150	48	198
R7	140	58	198
R8	155	49	204

【令和3年～7年合計】

月	自動二輪車 (人)	一般原付 (人)
1月	87	49
2月	83	28
3月	119	43
4月	133	57
5月	164	38
6月	146	54
7月	183	56
8月	169	67
9月	175	55
10月	188	37
11月	157	44
12月	124	57

事故タイプ	人数	割合
車両相互	102人	65.8%
右折直進	39人	25.2%
出会い頭	20人	12.9%
正面衝突	15人	9.7%
追突	10人	6.5%
その他	18人	11.6%
単独	53人	34.2%
計	155人	

- ・直進 36人(92.3%)
- ・右折 3人

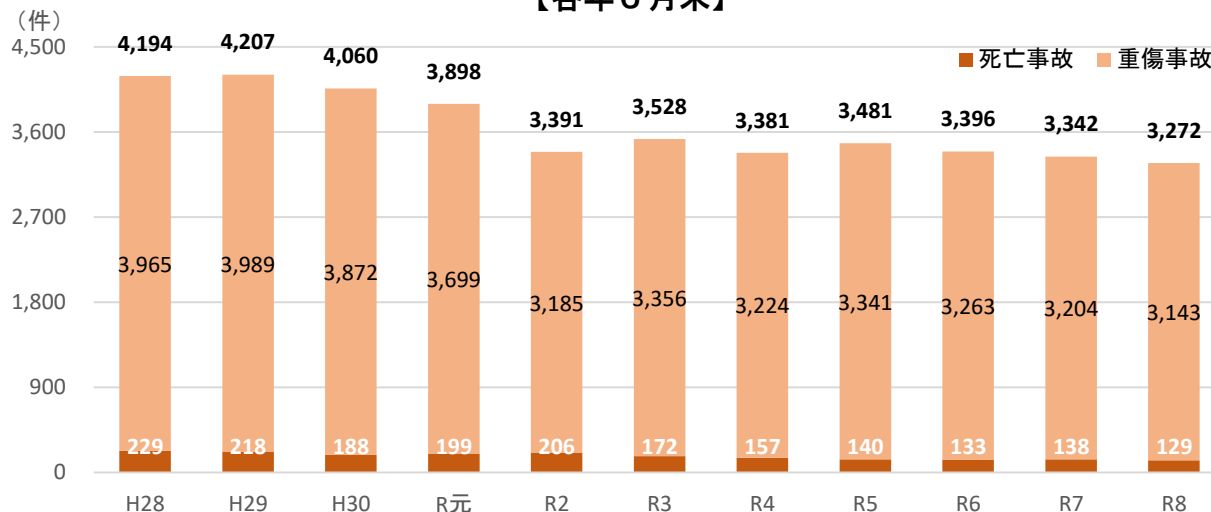
- ・直進 1人
- ・右折 4人

事故種別	人数	割合
車両相互	38人	77.6%
出会い頭	21人	42.9%
追突	4人	8.2%
正面衝突	3人	6.1%
その他	5人	10.2%
単独	10人	20.4%
列車	1人	2.0%
右折直進	5人	10.2%
計	49人	

8-1 自転車

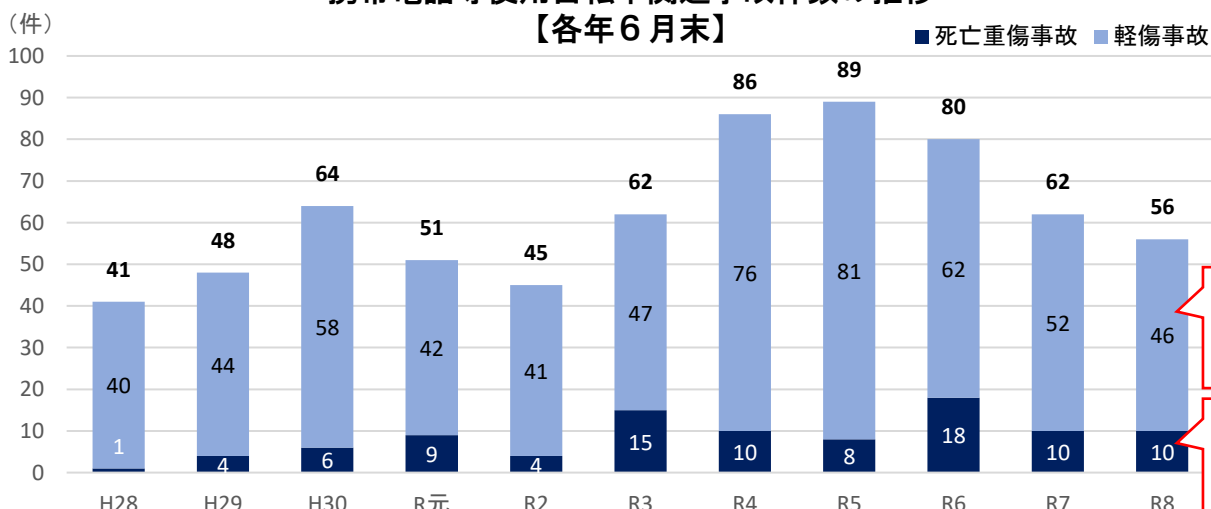
- 自転車関連死亡・重傷事故は減少傾向
- 携帯電話等使用による交通事故は令和6年以降減少

自転車関連死亡・重傷事故件数の推移
【各年6月末】



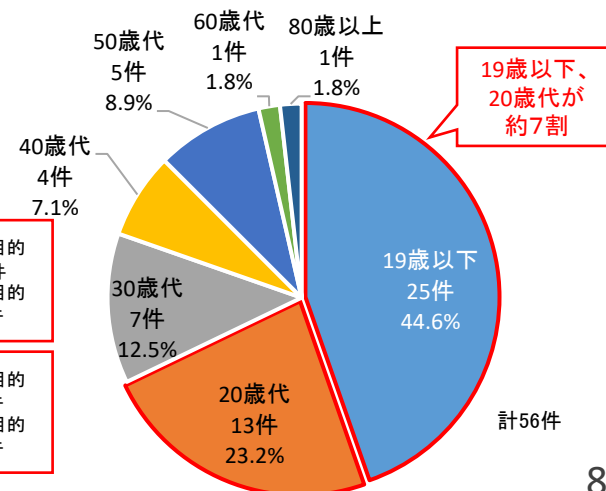
(注)・自転車が第1又は第2当事者となった事故を集計し、自転車相互事故は1件とした。以下同じ。

携帯電話等使用自転車関連事故件数の推移
【各年6月末】



(注)・自転車第1又は第2当事者となった事故のうち、自転車運転者の携帯電話、スマートフォン等の使用が要因となって発生した事故を集計。ただし、同条件の相互事故は1件とし、第1当事者の使用状況を集計。以下同じ。

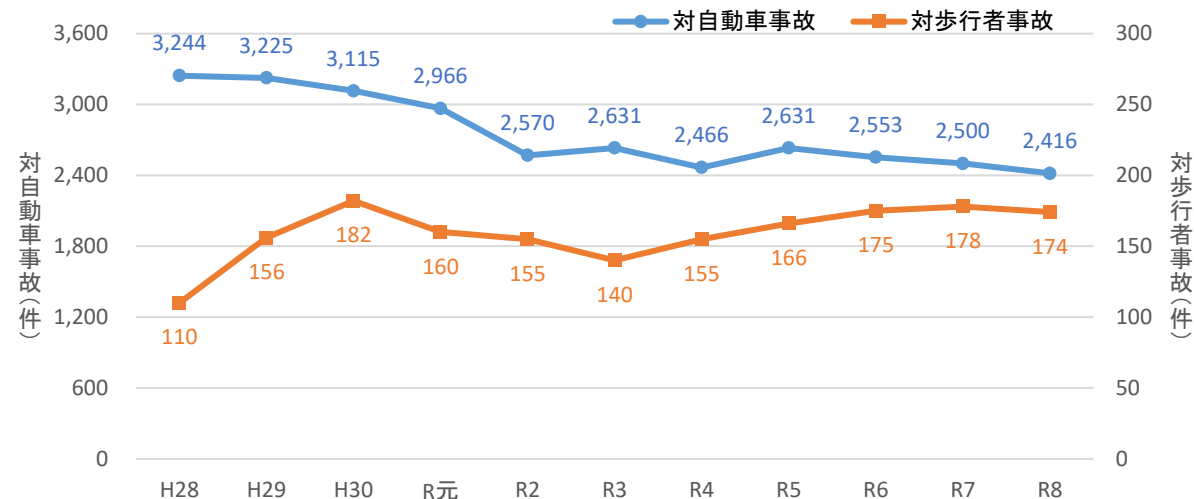
年齢層別携帯電話等使用自転車関連事故件数
【令和8年6月末】



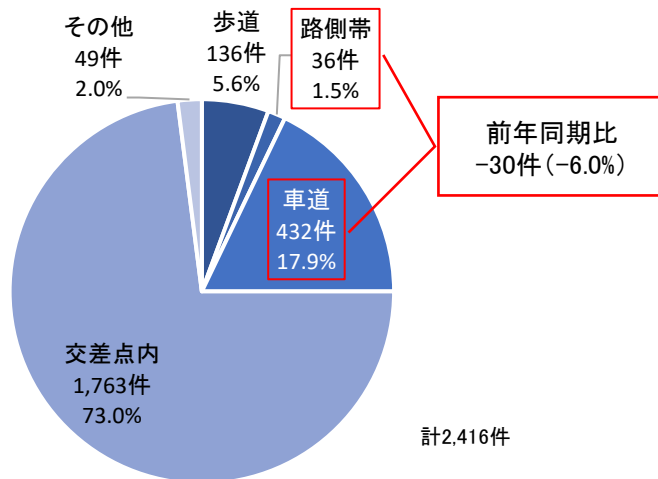
8-2 自転車

- 自転車対自動車事故は減少傾向、自転車対歩行者事故は令和4年以降増加していたが、本年は減少
- 自転車対歩行者事故の約4割は歩道で発生

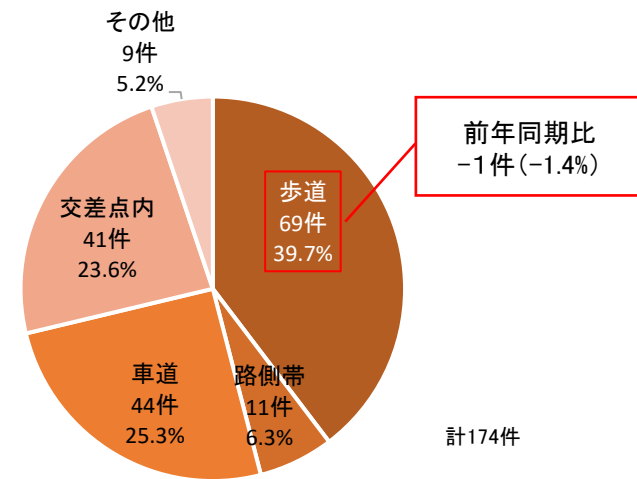
自転車対自動車、自転車対歩行者死亡・重傷事故件数の推移（第1・第2当事者）
【各年6月末】



自転車対自動車の衝突地点別死亡・重傷事故件数
（第1・第2当事者）【令和8年6月末】



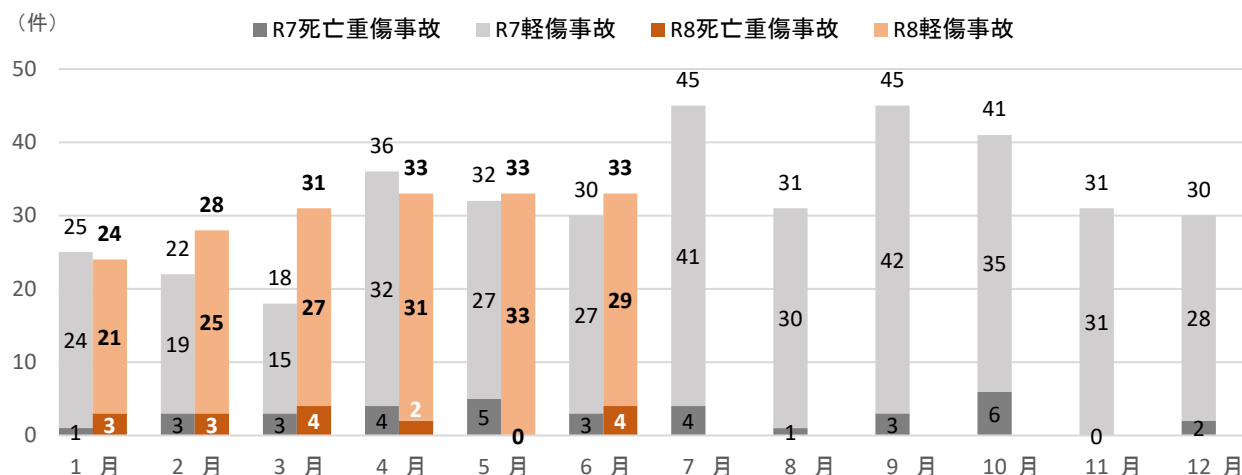
自転車対歩行者の衝突地点別死亡・重傷事故件数
（第1・第2当事者）【令和8年6月末】



9 特定小型原動機付自転車

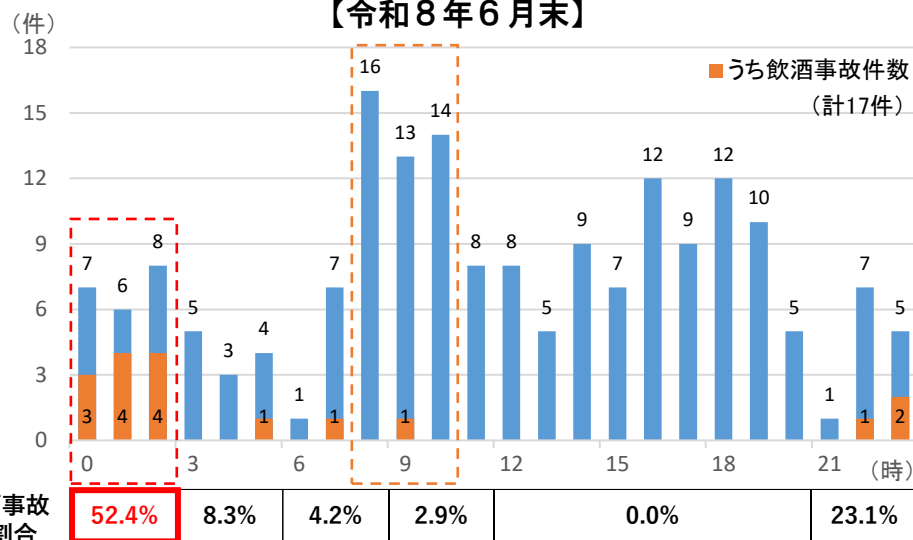
- 発生時間帯は8～10時台が多く、0～2時台に発生した事故の約半数に飲酒あり
- 相手当事者は自動車が約4割と最も多く、次いで単独が約2割

特定小型原動機付自転車関連交通事故件数の推移（月別）



(注)・特定小型原動機付自転車が第1又は第2当事者となった事故を集計し、特定小型原動機付自転車相互事故は1件とした。以下同じ。
・死亡重傷事故のうち死亡事故は計2件で、令和7年4月に1件、令和8年6月に1件である。

発生時間帯別特定小型原動機付自転車関連交通事故件数
【令和8年6月末】



(注)・飲酒事故件数は、特定小型原動機付自転車が第1又は第2当事者となった事故のうち、特定小型原動機付自転車運転者が飲酒運転であった事故を集計した。

相手当事者別特定小型原動機付自転車関連交通事故件数
【令和8年6月末】

